

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ 中丸支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数	職員不足にならない様に利用者様の利用状況、状態に応じてシフトの調整を図る。急な体調不良等で人員不足になった教室へのヘルプ体制を確立している。	送迎スタッフや支援員の確保の為に募集をかける。支援員の支援の質の向上の為に研修を受ける機会を創出する。
2	保護者様、利用者様の満足度	利用者様が自宅や学校以外に安心して過ごせる居場所となるように何でも話せる信頼関係を構築して行く。	すべての利用者様、保護者様にご満足いただけます様に常に学び、利用者様に統一された正しい支援ができるように職員一同努力していく。これからも宜しくお願い致します。
3	様々な活動を取り入れて常に新しいものに挑戦して行きます。	保護者様が利用者様と一緒に活動して楽しく過ごせるような機会を創出して行く。理学療法士を配置しているので専門的な支援や回答ができるように機会を増やしていく。	カリキュラム委員会、企画課、他教室、理学療法士と相談、連携しながら楽しい活動、新しい活動に挑戦していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動スペース、職員配置数、バリアフリー化について	机が重く折りたためないので狭いと感じることがあるかもしれない。広く使いたい場合には机の配置を変えて使用していく。	内装を改装してバリアフリー化することは難しいが、必要最小限のものを置くこととして、表面積を有効活用しより使いやすい、過ごしやすい空間に行きたい。利用者に対しての職員の数は充足している。有資格者の職員を配置しているので、より支援の質を上げていく為に研鑽する。
2			
3			